

第四回

池田町

アイデア

工房会議



本日の流れ

1. 会全体の流れ
2. 前回まとめ
3. 最終的な仕上がりイメージ
4. 第4回の目標
5. 本日の流れ

※途中お茶タイムを1～2回とります。

6. 今後の流れについて

コーディネーター紹介

今回の司会者 **細川甚孝（ほそかわ しげのり）**

◆昭和46年 秋田県仙北市生まれ

- ・ 上智大学大学院社会学専攻博士後期課程満期修了
- ・ 早稲田大学大隈記念大学院公共経営研究科修士課程修了

◆所属

- ・ 政策支援合同会社 ・ 日本経営協会
- ・ 早稲田大学パブリックサービス研究所客員研究員

◆専門

- ・ 行政評価／教育・文化・産業等地域政策

1. 会全体の流れについて

◆今回のポイントは;

住民のきもち・想いを、**参加者の皆さん**で議論し、**地域の課題・気になるところを発見**し、それを**解決するプロジェクト**を考えることです。

そして、実際へ向けてどんなことを**段取**っていけばいいのかを考え、すぐにプロジェクトを始めるための**アクション**を議論します。

1. 会全体の流れについて

今回の5回の流れ

第1回 テーマごとの課題を発見します。

第2回 チームを変えて、テーマについて議論します。

第3回 課題に対応するしかけ・プロジェクトを考えます。

第4回 プロジェクト内容を詰めていきます

第5回 プロジェクトの実施方法を考えていきます

2. 前回のまとめ

No	領域	プロジェクト名	課題	27年度実施可能性
1	移住定住	・みんなおいでよ池田町	・定住促進のためのPR戦略、PRのための手段がない	○
2	観光	・サイクリスト誘客プロジェクト	・池田山温泉を利用したサイクリストを呼びたい	
3	観光	・池田山でのウォーキング・トレッキングコースの見直し	・年間を通じて観光がない	○
4	教育	・街を明るくするプロジェクト	・通学路の安全性が確保されていない	
5	教育	・寺子屋事業	・不登校への理解が進まない	
6	教育	・生きる力を身に付ける	・学習環境が整っていない	○
7	産業	・6次産業化	・6次産業化が進んでいない	○
8	産業	・企業誘致と活性化	・企業誘致が進んでいない	
9	産業	・より積極的な情報発信	・情報発信が弱い	○
10	福祉	・ライフサポート強化事業	・地域資源が活用されていない	
11	福祉	・空き家ワンコインカフェ	・地域住民が日常的に集まる場所がない	
12	福祉	・健康寿命延伸	・健康寿命を延ばすことをしていない	
13	福祉	・ちゃちゃまるタクシー	・外出や買い物が自由にできない人がいる	

プロジェクト名；

参加者

【 課 題 】

【 解決した姿 】

【 手 法 】

◆課題

これまで
検討してき
た課題を書
きます

◆解決した姿

課題が解
決してきた
どんな姿
になるかを
具体的に
書きます

解決した姿を
象徴する写真・
イラストなどを
示す

解決した姿を
象徴する写真・
イラストなどを
示す

解決した姿を
象徴する写真・
イラストなどを
示す

◆解決するための手法(誰が・何を・どうやって)

解決した姿を実現するために
どんな手法をとる野かを示します。
誰が、誰と、どんな内容・手法・どこ
でなど示します。

◆領域が5年後になっている姿

【 課 題 】

◆課題

- ・農業等の6次化が進んでいない

◆課題

- ・町内農産物の魅力が町内外に伝わっていない。

【 解決した姿 】

◆解決した姿

- ・町内で生産・加工・販売などが一通貫で出来るようになる。
- ・収益が増加する



出典: <http://www.gov-online.go.jp/useful/article/201502/3.html>

◆解決した姿

- ・町内外に、池田の農産物の魅力が伝わり、ファンが増える。

＜パンフレットイメージ＞



出典: <http://www.charoku.com/blog/?cat=18>

【 手 法 】

◆解決するための手法(誰が・何を・どうやって)

- ・農林係が中心となって、生産者と加工業者などのマッチング大会を実施する。
- ・金融関係者にも声をかけ、事業拡大のための融資などのきっかけを提供する。

◆解決するための手法(誰が・何を・どうやって)

- ・町内第一次産業の実態調査;ヒアリング等を行い、特産品の募集、広報・販売に関するニーズ調査を行う
- ・販売手法の検討;ITやSNSを活用した販売手法や、直接的な販売手法の検討を行う。その際にはパッケージデザイン・キャッチコピーなどを検討し、総合的な付加価値を向上させる
- ・IT・SNSを活用した情報発信・販売促進の実施;町内特産物の情報発信や販売促進を目的とした各種ウェブサイト構築する

◆5年後になっている姿

- ・町内の農産物が知名度があがり、かつ、町内で販売までできるようになり、産業としても魅力が上がる。
- ・結果、若い就業者が増える。

4. 第4回の目標

(1) 考え方

- ◆前回のメンバーで前回の事業・プロジェクトを振り返ります。
 - ・前回での議論を振り返ります。事務局がまとめたシートについて、内容の確認をします。言い忘れたこと、もっといいことを書きます。
- ◆班ごとに意見交換をします。
 - ・課題を踏まえ、だれに、なにを、どうしてなどをみんなで考えましょう。内容の確認、新規の内容を議論します。
- ◆班ごとの意見交換を行う時に、今回の事業が実施されたら、どんなまちになるかを考えます。

5. 本日の流れ

(1) 前回の確認 (40分間)

① 本年度実施予定事業がある場合

- ・ 担当課からの説明
- ・ 参加者との対話

② 本年度実施予定事業が無い場合

- ・ 「現状での課題」と「事業」が適切かどうかを確認します。
- ・ 適切でないものを合議をして決めてください
- ・ 内容が足りない場合・適切でない・追加したい場合は、加除修正してください。
- ・ もし、現状で議論すべき事業が無い場合は、新規の課題を設定して、事業を考えてください。

5. 本日の流れ

(2) グループごとに違うグループに訪問して、課題・事業についての対話をしてください (50分×2回)

<進め方>

①説明

受け入れるグループは、事業を取り上げた理由と検討した事業を訪問したグループに説明してください。

5. 本日の流れ

②コメント

訪問したグループは、説明を聴き、課題と事業がちゃんとつながっているか、事業の内容が、わくわくするもの、具体的なものになっているかをチェックし、コメントしてください。

◆コメント例

- ・内容に「心を豊かに」ってあるけど、具体的にはどんな内容？僕だったら○○ってことかと思うんだけど
- ・手法に「生きる力」ってあるけど、具体的にはなんだろう、他の力はいらないのかなあ
- ・手法に「対象者のためのPRをするとあるけど、対象者とは具体的に、どこに住んでいるどんな人？その人に向けてどんな情報を発信するの？」仮に○○というひとだったら、○○というやり方でやってみたらどうだろう
- ・手法に「仕事体験の教育を受けさせるとあるけど、仕事体験の協力者はどうやって集めるの？」。ほかの市だと○○って方法を使ってたよ。

5. 本日の流れ

③確認・受け入れ

受け入れるグループは、コメントを出来るだけに取り入れるようにしてください。また、どうして、こういったコメントをしたかを確認してください。

5. 本日の流れ

(3) 特に、交流タイム中に考えて欲しいこと

- ・特に、分野ごとの事業が上手くいったら・・・
- ・より具体的なイメージ・姿を想像してください。

<考えるきっかけ>

- ☐ だれが
- ☐ どんなふうにな変わって
- ☐ まち全体としてはどんな姿になるのか

No	1
交付金	○
領域	結婚□
プロジェクト名	・和プロジェクト□
課題	・気軽に参加出来るイベントが少ない□
対象	・町内外問わず若者□ ・子育て世代までの町民□
内容	・同窓会など、緩やかにつながる場の形成を支援；町内中学校の同窓会等の開催を支援し、親睦を深めるためのイベントを実施する。□
誰と	・当事者同世代□
どうして	・出会いがない□
手法	・同窓会 ・アウトレットイベント ・クラフト ・音楽、飲食など楽しいイベント(主催)
場所	・地元 ・大津谷キャンプBBQ ・ワンダーピクニック関係のお店をやっている人 ・ライブ(有料)(主催)
どんな順番で	1) 2) 3)
結果として、どんなまちになる？	・町内の農産物が知名度があがり、かつ、町内で販売までできるようになり、産業としても魅力が上がる。 ・結果、若い就業者が増える。

5. 本日の流れ

<訪問>

◆第一セット（50分間）

- ・ 移住・観光（質問する） → 産業（質問される）
- ・ 教育（質問する） → 福祉（質問される）

◆第二セット（50分間）

- ・ 産業（質問する） → 移住・観光（質問される）
- ・ 福祉（質問する） → 教育（質問される）

6. 今後の流れについて

◆ 1. 次回（最終回）

- ・今回、ご提案いただいた内容を整理し、分野ごとの事業リストを示します。
- ・それぞれの事業の実際の段取りを考えます
- ・分野ごとの今後のまちの姿を示します（5 ページ）。